

意見募集に寄せられた主な自由意見一覧

No.	大分類	中分類	意見要旨	対応	
1	①世界とつながる国際貿易拠点港	外内貿コンテナふ頭の再編・拡充・機能強化など	現行のバース単位でのターミナル運営は非効率であり、今後の再編において少なくとも3バース程度の一体運営・設備やシステムの共有化が必要。	ご意見は、今後の検討課題として、参考にさせていただきます。	
2			品川ふ頭コンテナヤードは敷地が狭いにもかかわらず、3つのターミナルオペレーターが運営しており、効率が悪い。ゲート共有、事務所カウンタ共有等、効率的な運用を求める。		
3			15号埋立地（若洲）拡張、木材埠頭施設再配置及びコンテナバース新設を希望する。		係船利用が低下している木材関連施設を再編し、増大するアジア貨物等に対応する新規ふ頭を整備することとしています。
4			貯木場の埋立等の利用を始めるべき。		
5			施設が不足しているため、ターミナルを増設してほしい。		利用の低下した在来ふ頭の利用転換を図り、新規ふ頭を整備することとしています。
6			大井コンテナふ頭南端における「港湾関連施設用地」から「ふ頭施設用地」への用途変更について、当社倉庫の移転等が生じる場合、取引に大きな影響を与える。 したがって、大井コンテナふ頭南端における既存ふ頭の用途変更について、再検討を願う。		今回の計画変更は、増加するコンテナ貨物及び今後の船舶の大型化に対応するため、東京港の機能強化を図ることを目的としています。 事業化に当たっては、十分な調整を図ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
7	ロジスティクス機能の強化	日本及び東京の未来に港湾ロジスティクスの強化整備はもっと推進すべきテーマである。	ふ頭背後の機能強化やバン・シャーシプール等を確保し、ロジスティクス機能を強化することとしています。		
8		ロジスティクス機能を強化することで、物流の高度効率化を図ってほしい。			
9		港湾地区並びにその周辺交通網の更なる整備・充実をしてほしい。		円滑な交通ネットワークを確保するため、南北線等の道路を整備していくこととしています。	
10		青海・ワールド流通センターの移転を検討すべき。		ご意見は、今後の参考にさせていただきます。	
11		特にロジスティクス地域について、公共の乗り物の充実を願う。			
12	交通混雑対策	ターミナルへの貨物の搬出入において長い待機時間を強いられている。港湾近隣にコンテナシャーンの一時車庫を求めようとしているが、対応窓口が公表されておらず苦慮している。今回の計画策定が平成30年代後半を目標としているが、まずはコンテナターミナル搬出入時間の再延長とシャーシプールの提供を願う。	平成26年2月に策定した「東京港総合渋滞対策」に基づき、東京港の交通混雑対策を推進していきます。 具体的には東京港の抜本的な機能強化（中央防波堤外側Y1～Y3ターミナルの整備、それに伴う大井・青海の既存コンテナふ頭の再編、南北線の整備等）を着実に進めていきます。 また、これと同時に短期的かつ即効性のある取組（早朝ゲートオープン取組、車両待機場場、違法駐車対策の強化等）についても実施していきます。		
13		東京港の海上コンテナ物流について懸念する。コンテナターミナルゲート営業時間の拡大、オフドックバンプールの営業拡大を提案する。			
14		ゲートオープン時間の延長（延長に伴うコストは利用者側の一部負担を考慮すればよい）			
15		ターミナルゲートのオープン時間が短いためにトラックが集中し、渋滞が発生している。			
16		全ターミナル・バンプールに対して早朝7時から19時まで（昼休みの1時間は稼働する）の実質12時間受付を望む（24時間オープンは不要）			
17		早朝ゲートオープンは、7:30からのオープンでは、夕方の混雑回避への大きな成果にはつながらない。			

No.	大分類	中分類	意見要旨	対応
18			コンテナヤード運営24時間化を望む。	
19			東京港の混雑は十数年間続いており、中央防波堤に3ヶ所のコンテナターミナルができたとしても輸出入コンテナはさばききれないのではないか。24時間ゲートオープン、コンテナ専用道路が必要。	
20			現在、大井ふ頭周辺では、コンテナ車両による慢性的な渋滞が起きており、「常態化した台切りシャーシー」と「待機場所と化している道路」の問題が大きいと考える。取り締まり強化を希望する。	
21			コンテナヤードの混雑のために車両の回転が悪く、海上コンテナ輸送業の経営が圧迫し、運転手確保に苦慮している。運転手確保のためにも、コンテナヤードの外来受付時間の延長、コンテナ搬出入にかかる荷役機械の拡充が必要である。	
22			無駄なアイドリングをやめさせるために、コンテナヤードの並び時間の短縮を求める。並び時間短縮のために、コンテナヤードのトレーラ外来受付時間の延長、コンテナ搬出入にかかる荷役機械の拡充が必要である。	
23			長期に渡るヤード渋滞問題により、運送業者を取り巻く環境は非常に劣悪な状態にある。この問題が、過重労働、運転員不足につながり、繁忙期には他港に物量が流れる悪循環となっているため、改善を希望する。	
24			コンテナ搬出入の車列についてから、30分以内でのコンテナ搬出入の実現を望む。	
25			ゲート前混雑問題に対し、短期的対策を行政主導でスピード感をもって取り組むべき。	
26			交通混雑対策を推進することで物流の高度効率化を図ってほしい。	
27			オリンピック・パラリンピック競技場の建設開始後、大きな混雑が予想されるので、即効性のある渋滞問題解消策の実施を願う。	
28			土地の効率的活用や機能強化は賛同できるが、これに即した道路の確保が絶対条件である。	
29			大井ふ頭待機場場について、単に待機するだけでは、輸送効率が上がらず海コン業者の運営が悪化する。大井ふ頭待機場場は、単なる待機場場としての運用ではなく、平成22・23に実施されたICPIによるシャトルサービスの運用導入を願う。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
30			完全予約制は、コンテナ輸送事業者の実務上の利便性が全く考慮されていない内容となるので、撤回を求める。	
31			ターミナルの自動化も進める必要がある。東京港独自の自動化の検討推進を願う。	
32			京浜島のコンテナバンプールは、「大井その1・その2間の埋め立て事業」完成までの仮ヤードと説明を受けている。早急に当該事業を完成させていただき、京浜島の道路問題を解決してほしい。	交通混雑を解消するため、大井ふ頭その1・その2間の埋立てにより、新たな土地を確保し、バン・シャーシプール等のコンテナ関連施設を早期に整備することとしています。
33			大井埠頭と城南島間の新バン・シャーシプールの道路計画を希望する。	

No.	大分類	中分類	意見要旨	対応
34		その他	川崎港、横浜港、その他近隣港との連携も必要である。	「京浜港の総合的な計画」に基づき、京浜三港の連携を更に深めていくこととしています。
35			新規バース整備はもちろん、ターミナル運営者への補助金等の支援による設備の増強、接岸料の低減、本線優先のバース内作業の改めにより、交通渋滞緩和、労働環境改善が望めると考える。現在、過酷な労働条件のため、トラック運転者が不足し、規模拡大が出来ない状況にある。国際貿易港としての地位向上を図るには、ハードの補強だけでなく、ソフト（労働者）の増強も考慮した計画としてほしい。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
36			横浜、千葉、船橋等の他港へコンテナ船を誘致し、客船等を東京への誘致を望む。	
37			東京港の海のみなどは川崎・横浜両港へ集約する。	
38			海上コンテナ物流の全体最適を求め、海陸一体で取り組むべき。	
39	②世界から人が訪れる国際観光港湾	臨海地域の魅力あるみなど・まちづくり	臨海地域に行くのにもっと交通の便が良くなればいい（JR、地下鉄の新設）。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
40			巨大コンベンションシティとして、東京ビッグサイト、幕張メッセ、パシフィコ横浜等へのトラムシャトル導入を希望する。	
41	大型クルーズ客船の誘致		13号地埋立地（青海）客船埠頭計画の施設充実を望む。	大型クルーズ船が着岸可能な新客船ふ頭を着実に整備していくこととしています。
42			シーサイドアミューズラインに、客船が着岸出来る岸壁を整備した方が良い。	ハーバービューラインに新客船ふ頭を整備することとしていますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
43			晴海ふ頭は客船専用バースとして残した方が良い。	ご意見は、今後の検討課題として、参考にさせていただきます。
44	海上交通ネットワークの拡充		都民が日常利用する水上交通の旅客部門の活性化（利便性強化）を望む。	観光と日常の足の両面から東京の魅力を高める、海上交通ネットワークの形成を目指して検討を行うこととしています。
45			水上交通の拠点駅を湾岸部等に再整備を望む。	
46			地下鉄駅等の出入り口を旅客船の船着場の近くに増設整備を望む。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
47	その他		羽田空港との連携（羽田の航空施設の一部としての専用区域である羽田乗り継ぎ特区の開発）を望む。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
48			羽田・成田とリニアで結び、入国管理を一元化することで更に利便性が上がるだろう	
49			羽田・成田空港と共同利用できる港とする。	
50	③世界をリードする環境先進港湾	潤いのあるベイエリアの実現	多様な水辺環境の整備を望む。	物流・都市・環境の各ゾーンの特徴を生かした緑地・水辺の整備、生物生息環境を創出し、水と緑のネットワークを拡充することとしています。
51			お台場ランニングコースなどの、樹木が無い場所に植樹をする。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
52			屋上・壁面の緑化ではなく、「都市機能を持つ人口の自然」を作る。	
53			既存海上施設（コンテナターミナル含む）を全面緑地ゾーンにする。	

No.	大分類	中分類	意見要旨	対応	
54		人とみなと・海とのつながりの充実	大きい渋滞がなくなり、通勤がしやすくなった。これからも働きやすい環境作りを進めて欲しい。	東京港の多彩な水際を活かし、魅力的な空間形成に取り組むこととしています。	
55			水際線あたりが歩けるように整備されていることは好印象。水辺を楽しめる場所にして欲しい（例えば、遊歩道がぶつ切りになっていない、ベンチがある、海や運河をながめやすい、船を撮影しやすい）。	東京港の多彩な水際を活かし、魅力的な空間形成に取り組むこととしています。	
56			「平成25年度第5回インターネット都政モニターアンケート」によると、マリンスポーツに期待する人は少ない。一方、磯遊びや釣りを楽しむ人、今後期待する人は多く、マリンスポーツの整備によって、磯遊びや釣りができる場が失われるのは問題である。東京港の機能を「物流」「都市」「環境」の3つにゾーニングしているが、これらが1つの場所に共存することも可能ではないか。オリンピック会場やふ頭の整備の際に、磯遊びや釣りでの利用も可能な護岸・堤防の工事も可能だと思うので、競技場やふ頭の機能と、一般都民の磯遊びや釣り等が共存できる計画としてほしい。	今回計画を予定している海浜・浅場等は、ご意見をいただいた磯遊びや釣りができる場となっているものであり、かつ東京港における様々な機能を共存させるものです。今後とも水と緑・生物生息環境ネットワークの拡充に努めていきます。	
57			国営の係留場を作るなど、クルージングで係留できるところが増え、マリンレジャーとして湾岸地域が活性化すると思う。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。	
58		環境負荷の少ないみなどの実現	環境共生型まちづくり（積極的な木材活用、省エネルギー化、自然エネルギー利用など）を望む。	港湾施設における太陽光発電の導入や、環境負荷の少ない荷役機械の導入、剪定枝葉を活用した資源循環など、先駆的な取組を推進することとしています。	
59			2020年までに東京港の電力を、藻類オイルによる発電、波力、小型水力発電を主としたものとしてほしい。	ご意見は、今後の参考にさせていただきます。	
60		④世界を魅了し未来を切り開く「スポーツ都市東京」	オリンピック・パラリンピックを契機とした「スポーツ都市東京」の実現	オリンピック・パラリンピック開催にあたり、港湾物流の排除、一時的な停止、遠距離施設への代替措置を講じないよう願う。東京都局間での連携・調整を強く願う。	オリンピック・パラリンピック会場が多く存在する臨海部については、大会の開催及び準備にあたり、オリンピック準備局等の関係者と連携しながら交通混雑等への対応を検討していくこととしています。
61				オリンピック開催時に、東京港の交通混雑が予想されるので、解消への取組を願う。	
62				オリンピックポート場の使用後は埋め立てて利用する。	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
63	⑤世界に誇れる安全・安心なベイエリア	大規模地震対策施設の拡充	防災都市・東京、世界に誇れるベイエリアを創造してほしい。	緊急物資輸送に必要な耐震強化岸壁の充実等を図り、災害に強いみなどづくりを進めていくこととしています。	
64			待機場の整備により、交通問題は解消してきている。防災面の強化を特に願う。		
65			安全で環境にすぐれた東京港になってほしい。		
66	その他	耐震強化岸壁がすべて整備される前に震災が起きた場合の対応は、他港との連携、港湾BCPIについて、どのように計画に記載されるのか。	東京港の港湾BCPとして、平成25年3月に策定した「東京港における首都直下地震発生時の震後行動」に基づき、港湾機能の確保及び修復を行っていくこととしています。		
67			構造物を強化しても無駄。先に、バックアップ港湾を充実させるべき。	ご意見は今後の参考にさせていただきます。	
68	その他全般（①～⑤）	需要予測をしっかりと行い、目的（輸出入、観光等）の必要に応じて計画の変更が必要である。	社会経済フレームや取扱貨物量実績等から将来貨物量を推計し、それに対応した港湾施設を計画しています。		
69		既存の規模を大きくせず、整理・縮小することを強く望む。	利用の低下した在来ふ頭の利用転換や土地利用計画の変更等により整備することとしています。		

No.	大分類	中分類	意見要旨	対応
70			「暮らし・共生・産業」のエリアのすみわけを望む。	物流機能ゾーンと都市機能ゾーン、環境機能ゾーンに東京港をゾーニングし、各ゾーンの特徴を捉えた計画としています。
71			港湾施設と商業施設を分離してほしい。	
72			長い目で見た港湾行政を望む。東京港一辺倒では物流全体に停滞を招く。東京は土地が狭く、地価も高いので、そこに集中させないほうがよい。	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
73			江東区新木場は、「物流機能ゾーン」と位置づけられているが、物流機能と同時に、新たな機能導入にも配慮した港湾計画を望む。	
74			作業船の係留施設を整備して欲しい。	
75			船舶係留水域等の整備を望む。	